

お客様本位の業務運営に関する取組み方針

UBS 銀行及び UBS 証券株式会社ウェルス・マネジメント本部においては、「お客様にふさわしいサービスの提供」の行動計画として、下記のように取り組んでいます。

UBS ウェルス・マネジメントにおける、お客様の資産運用の考え方

UBS ウェルス・マネジメントにおいては、お客様の資産を長期的に成長させることを目指して運用アドバイスをを行います。お客様の専任クライアント・アドバイザーが、UBS のグローバル・ネットワークを活かしたリサーチに基づく UBS ハウスビューを活用し、お客様のリスク許容度を含め適合性も考慮し、お客様の資産運用における目標の達成をサポートします。

CIO 富裕層のお客様のために構築されたリサーチ体制

世界主要 10 拠点に 200 人以上のリサーチ・スペシャリストを擁するウェルス・マネジメントの調査部門チーフ・インベストメント・オフィス(CIO)は、世界各地より最新の情報を集め、分析しています。その結果は、世界中の拠点に配信され、お客様へのアドバイスに活かされています。

お客様にふさわしいサービス

UBS ウェルス・マネジメントにおいては、クライアント・アドバイザーが、お客様の投資目的、投資期間、リスク許容度等のリスクプロファイルを伺い、それに基づいて CIO が策定する UBS ハウスビューによるお客様に合ったポートフォリオを構築していただく、UBS ハウスビューに沿ったポートフォリオ構築を可能とする投資信託を購入していただくことためのアドバイスを提供することが、アドバイザー・プロセスとしてお客様にふさわしいサービスと考えています。

金融商品スペシャリストと協働し、単一の商品はもちろん、複数の商品を組み合わせた解決策や総合的なテーラードのポートフォリオの設計や、体系的かつ効果的な投資手法などを含むご提案を行います。

また継続的かつ包括的なアドバイザー・プロセスにより、効果的にフォローアップを行います。

それを実現するための一つの方法が「投資一任運用サービス」です。

UBS 銀行東京支店および UBS 証券株式会社ウェルス・マネジメント本部では、**投資一任運用サービスの残高の増加**をこの目標の達成を測る指標としています。

投資一任運用サービスにおける特色

投資一任運用サービスにおいては、お客様の資産運用の基本方針として、UBS ハウスビューに基づいて、国内外の伝統的資産(株式・債券等)への投資に加えて代替投資(ヘッジファンド、コモディティや不動産を原資産とする有価証券等)への国際分散投資により、お客様の資産を長期的に成長させることを目指して運用を行います。

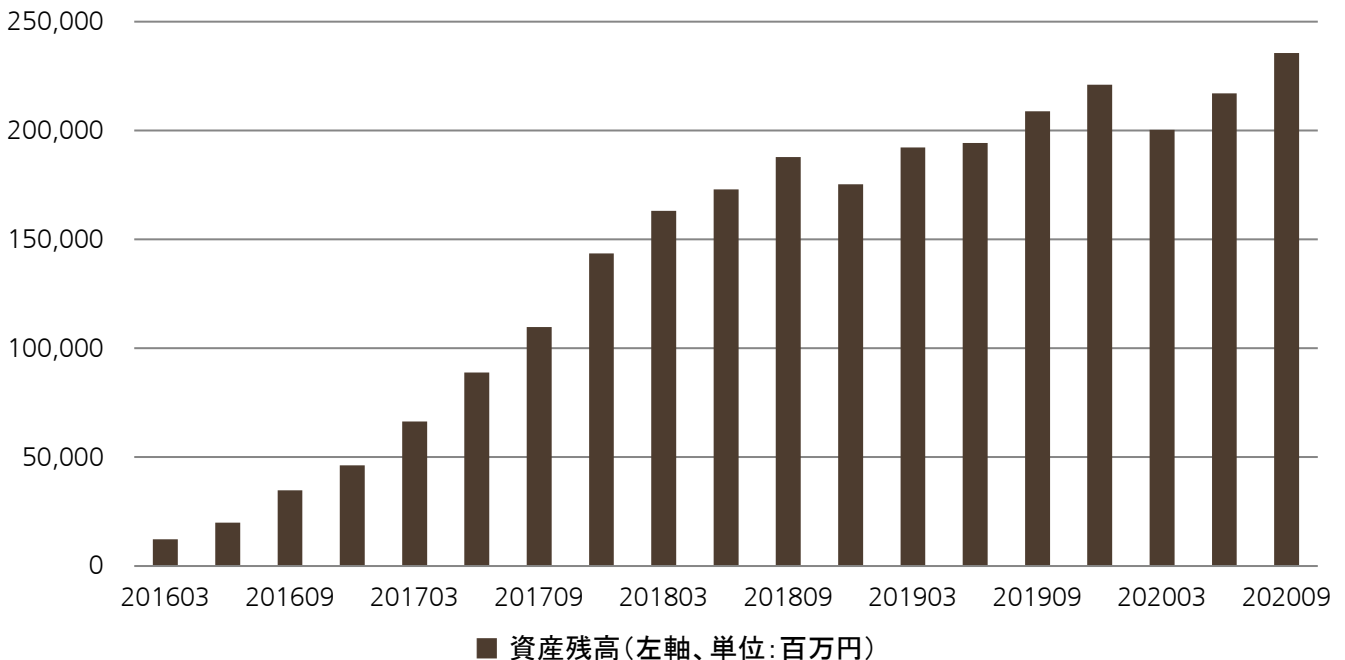
投資一任運用サービスの運用の特色(投資哲学、運用スタイル等)

- UBS のグローバル・ネットワークを活かしたリサーチに基づく UBS ハウスビューを用いたアクティブ運用を行います。
- 銘柄分析においてグローバルの専任担当チームが資産クラス毎にもっともふさわしい銘柄候補を選びます。
- 国際分散投資を行うことにより、お客様の投資方針に合った最適なパフォーマンスの提供を目標とします。
- 規律ある運用を行うことにより、お客様の資産を長期的に成長させることを目指します。

投資一任運用サービスの投資に関する意思決定プロセス

- 顧客プロファイリング： 顧客との面談を通して、投資目的、投資期間、リスク許容度等の事前ヒアリングを行い、顧客にとって最適な投資戦略を提案します。
- 市場分析： 世界各地に配置されているリサーチ部門が綿密な市場分析を行い、各地域・市場に関する独自の見解を提供します。
- UBS ハウスビュー（投資戦略）： 毎月開催されるグローバル投資委員会において投資戦略の立案・投資テーマの選定を行います。
- 資産配分： UBS ハウスビューに沿った投資戦略毎のポートフォリオの資産配分を決定します。
- ポートフォリオ構築： 投資戦略に基づくポートフォリオの構築においては資産クラス毎に独自の投資手段及び銘柄選択を行います。
- ポートフォリオ・マネジメント： ポートフォリオのリバランス、パフォーマンス及びリスクモニタリングを定期的に行います。

UBS 投資一任運用サービスの残高推移



(2020年11月更新)